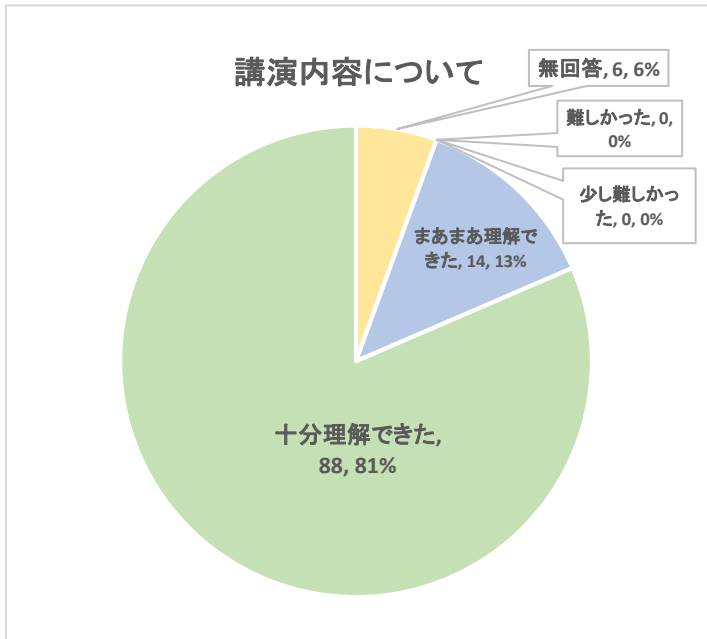
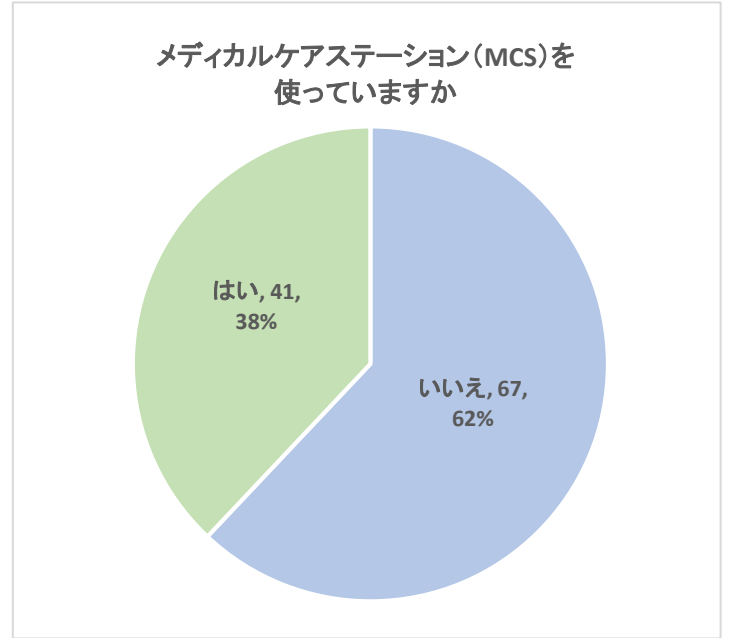
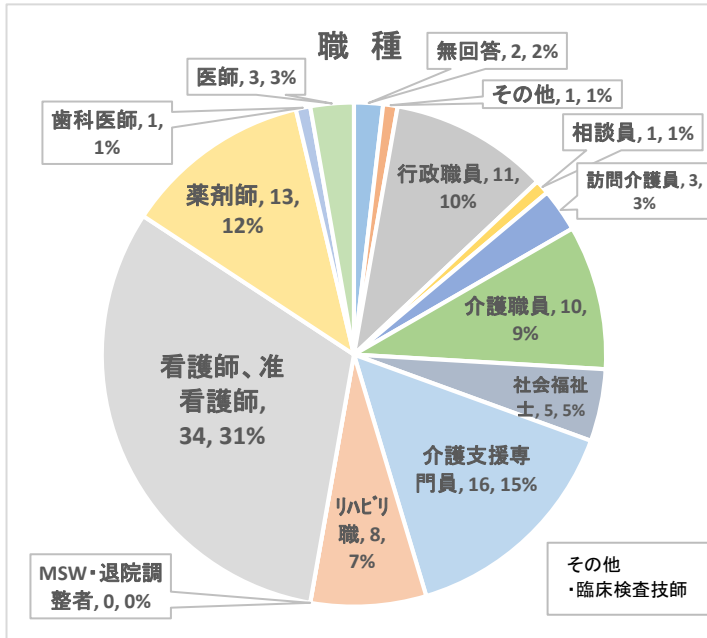




講演で特に印象深かった内容、その他意見など

- ・吉田先生がイメージしたキャラクターは何だったのか。
- ・心不全は難しいイメージでしたが、セルフケア、少しのことでよくなる、発症を防げるというのが分かり、これから勉強していきたいと思いました。
- ・心不全患者が増えている事は知っていたが、若年化が進んでいる事は知らなかったので勉強になった。塩分タブレットは不要との事で間違っている情報也正しいと思ってしまう世の中なので怖いと思った。
- ・塩分の測り方、含有量のピクトグラムがあればと思います。妊婦の頃6gの塩を小皿に入れキッチンに置き、調理しながら塩分が意識できました。
- ・とても興味深い内容でした。

講演で特に印象深かった内容、その他意見など

- ・とてもわかりやすい講演ありがとうございました。
- ・心不全について噛み砕いて説明してもらい、とても分かりやすく貴重な学びとなった。
- ・心不全の分かりやすい疾患の説明。
- ・パンダのピクトグラムを使うと指導しやすいと思った。
- ・退院後の生活を見据えた、多職種との連携がとても重要だと思った。
- ・治療は薬だけでなく、塩分、フレイル、服薬忘れなどの生活の見直しが大事であり、利用者に適したサポートをしていきたいと思う。
- ・心不全は高齢者の病気だと思っていました。勉強になりました。
- ・ピクトグラム興味深いです。
- ・心不全について、塩分だけではなくその他の原因もあり、そのことを学べた。体重の増加2キロ以上、体重を測る。水分は制限。体重測定を毎日する。服薬の飲み忘れを防ぐ。高齢者と関わるが多く、足のむくみ等を見ながら利用者の様子も観察しようと思った。気をつけてみてはいるのですが、それ以上に病院への受診をしていくことを行おうと思った。おんが病院の利用者はちらほらで、おかがきでも配布してほしい。おかがき病院、クリニック等。
- ・”その人に合った対処法を色んな職種の目線で考えていく。”施設職員として普段の生活を観察しながら、みんなで共有していきたいなと思いました。
- ・心不全のステージAは、生活習慣病の方々もあてはまることを考えると、かなり早い段階から意識していかなければいけないと再認識できた。
- ・医療の資格は無いのですが、とても分かりやすかったです。人によって水分制限があったりなかったりする理由があることを初めて知りました。
- ・吉田先生の講義は大変わかりやすく、理解しやすかったです。心不全手帳やピクトグラムの活用等の活用についても参考になりました。ありがとうございました。
- ・独自の手帳、ピクトグラムがよかった。わかりやすい。
- ・ピクトグラムはとてもよいと思いました。
- ・ピクトグラムを用いた教育は患者さんにとってわかりやすいだろうと思いました。心不全発症を予防するためにも、血圧の管理が重要であることが理解できました。
- ・心不全教育や支援がどのように行われているか知る事ができて大変勉強になりました。
- ・吉田先生の講演がとてもわかりやすく、心不全について改めて知識を深めることが出来た。また、おんが病院での取り組みについて知ることが出来てよかった。
- ・ピクトグラムという言葉を知りました。おんが病院が心不全手帳を作成してくれている、個別の心不全教育をしてくれているということをはじめて知りました。今日研修に参加できて知れて良かったです。多職種連携、頑張りたいです。
- ・吉田先生が多(他)職種の方へ協力してみしてほしいこと、覚えてほしいことを、しっかり伝えておられたので、病棟からも退院時の具体的にサマリー等を書いてつなげていきたいと思います。吉村くん、大島くんの講演もとてもわかりやすくて良かったです。
- ・文字が少なく絵が多くてぱっとみて分かりやすかったです。心不全の患者さんが多く、再入院する患者さんも多い中で、ピクトグラムの導入は看護師からしてもとてもありがたいし、伝えやすいです。他職で連携する事の大切さも気づきました。
- ・心不全は再入院が多いため、複数の目で確認し、早期発見することが大切であると改めて学ぶことができた。

講演で特に印象深かった内容、その他意見など

- ・歯科疾患と心不全の原因の重なり。パンダ。
- ・スライドで説明されて、わかりやすかったです。心不全手帳は、とても良いと思いました。水分、塩分の質問はとても興味深いものでした。
- ・心不全の患者さんに対する理解ができました。心不全手帳やピクトグラムを本人、ご家族、他職種で是非共有したいと思いました。全国的なツールになるといいなと思いました。
- ・吉田先生、吉村さん、大島さんの説明がとてもわかりやすく、ケアマネとしてご利用者様のどこに注意を向けるべきか、在宅チームでの関わり方など考えさせられました。認知機能が低下してきている方へパンダピクトグラムを使ってわかりやすく、心不全管理ができるようにされているのは、とても良いと思いました。ご自宅に貼られているか確認し、ご自身で使えているかなど見ていこうと思います。自分自身の塩分の摂り方も見直していこうと思いました。
- ・吉田先生の高血圧の講話は何度か聞かせていただきましたが、その先の心不全について学ぶことができ、とても参考になりました。包括保健師として、何ができるか検討していきたいです。
- ・早期発見、早期治療が大切、とてもわかりやすい説明でしたが、見直したい時用に資料がほしいと思いました。実際に状況を確認し、適切な受診等につなげていきたいです。
- ・心不全について、何となく浮腫が出てきたら気にする、塩分に気を付けるなど、という認識でした。何故浮腫が良くないのか、減塩が必要なのか、体重の増減に留意するなどの理由が、吉田先生がわかりやすく説明してくれたので、理解が深まりました。また、心不全で入院後の生活が再発予防に非常に重要であると学び、多職種で本人の変化や生活を見守り、支援を行うことができるような連携をしていきたいと思いました。心不全教育についても、患者が自ら意識して心不全の再発予防に努めることができる内容となっており、活用していきたいと思います。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・フレイルが心不全再入院の原因となること。ピクトグラムを活用した教育。
- ・介護保険認定審査終了後に参りました。最初から拝聴したかったです。
- ・とてもわかりやすく、理解できた。自分自身や親、利用者さんにも活用できることがあったと思います。
- ・塩分、フレイル(運動不足)、服薬忘れが原因が多く、生活の見直しが必要ということが印象深かったです。
- ・心不全には理解が不十分な自覚がありましたが、すごくわかりやすかったです。
- ・若い人でも心不全になっているという事に驚きました。熱中症予防に塩を付加する必要はないと、今の医療についていけてませんでした。
- ・フレイルが原因の方に減塩しても意味がないというお話しがあり、多職種で情報共有しながら生活の中にある原因を確実に見つけて、改善していくことが大切だと分かりました。
- ・心不全と塩との関係性についてびっくりしました。
- ・ピクトグラムのチラシを健診会場や地区の公民館に掲示してみるのも、高齢者に見てもらいやすいと思いました。
- ・心臓が広がる力が弱い心不全の人が激増、原因は高血圧。くつ下の跡をチェックすることが大切。BMI $\geq$ 25最大の心不全のリスク。身長の上半以上ウエストがある人は心不全がおこりやすい。管内入院施設どこでも心不全教育、パンダのカード、心不全手帳、横展開できるよう病院間の連携で広めていただきたいです。
- ・心臓の縮む力が低下することで心不全を発症すること。そのタイプが増加していることを初めて知った。また肥満の方に心不全が多い理由を知ることができた。今は直接、患者へ指導することはないが、患者の病態、予防策を考える上で有能な意識を得ることができた。夫が高血圧、肥満であり、義母も高血圧、フレイルの状態です。先生の話聞いて危機感を覚えました。心不全の再発、再入院、増悪を防いでその人らしく自宅で過ごすことができるよう、多職種連携、チームで継続して支援していただくことが大切であると感じた。

講演で特に印象深かった内容、その他意見など

- ・当施設でも心不全の診断名を持たれる方がほとんどである。又、毎日のBp、wt測定や水分制限のある方、入院を繰り返す方もおられ、身近な議題であった。高齢者は多疾患を持たれておられる方が多く、コントロールは難しい場合は少なくない。「適塩」という言葉は印象的であったが、健康を保ちながら高齢者のより心豊かな生活のためにどう支援できるのか、多職種も図りながら取り組みたい。個々人に合った取り組みを検討できれば、より効果的なことと実感できた。
- ・チーム医療のメリット、一日でも長く自宅で過ごす制限ばかりでなく楽しみを！良い事ですね。夏場での塩分制限とても勉強になった。
- ・文字が少なく、絵を用いての講演でわかりやすかったです。絵だけのスライドでもいいので配布してくださるとメモをしやすく助かります。本日はありがとうございました。
- ・心不全を悪化させる要因が多岐にわたるため、その人の生活の質を見極めるため、多職種の連携が大切だと改めて思った。
- ・塩分のとり方。
- ・心不全かどうか判断するのに、足を診るというのは簡単だし参考にしようと思う。
- ・本日の研修会に参加して、思い浮かぶ入居者の方が何名か頭の中に症状と共に考えさせられました。どの程度運動させるべきか等、自力でどこまでさせるべきかと参考になることがたくさんありました。
- ・心不全が低年齢化している。心不全は治らない。
- ・心不全になる理由を再度勉強できた。毎日の生活のききとりや、身体の状態を気にするようにしたい。
- ・心不全のことがチームも活動について、分かりやすく学べた。
- ・パンダのポスターはわかりやすく、いいと思った。ウエスト、身長比で心不全危険度を知って、他人事ではないなと思いました。
- ・スライドが絵や図など分かりやすかった。見やすかった。従来の心不全とは変化してきているところ。「ENT後2W→一フォローが重要であることをはじめて知り、今後のケアに活用していきたいと思った。予防することの情報提供、共有を自部署に持ち帰りたいと思う。
- ・心不全2つの内容性はとても充実した研修でした。私共の施設に心不全疾患を持っている方のケアの内容性を、今後体重、水分、塩分調整など、重大さが私達介護看護のあり方を再度見つめ直していきたいです。
- ・ピクトグラムを活用について、印象深かった。わかりやすい、とりくみやすい、とっつきやすい。
- ・心不全手帳(オリジナル)が見やすい。わかりやすい。ピクトグラムの導入はよかった。
- ・ピクトグラムでの対応が印象深く、記憶に残りやすく感じた。吉田先生の講演も身近な情報ばかりでとても勉強になりました。
- ・再入院することで死亡率があがることが多いことを知れた。再入院にならないよう普段接している時に、足のむくみ等気を付けて、観察の重要性を感じた所です。
- ・オリジナル心不全手帳の活用、パンダのピクトグラム、家族も一日で理解できる、よい取り組みと思いました。
- ・チーム医療の大切さがよく伝わりました。もう少し、多職種連携の所を深掘りしてほしかった。後半、心不全チームの内容中心で、連携が薄くなった気がしました。心不全手帳は、自分の健康管理のためにも、欲しいなと思いました。
- ・とてもわかりやすく勉強になりました。訪問診療をしてくださる病院が増えると良いと思いました。吉田先生の講演のワーク資料が欲しいです。

講演で特に印象深かった内容、その他意見など

- ・オリジナル心不全手帳の中身をもっと知りたいと思いました。年齢が上がれば上がるほど、目で見て分かりやすい物、文字より頭に入りやすい、覚えておきやすい、ピクトグラム、高齢の両親に当てはめると良く理解しました。検査技師なので生活の先を考える事がなく、退院後を考えての情報ツール、入院時だけではない退院後の生活を考える必要があることが良くわかりました。
- ・心不全は進行性で完治せず。退院後2週間以内の再発予防が重要になってくる。血圧130/80目標。ステージAの心不全(高血圧、DM、肥満、腎臓病、血圧治療)は自分もあてはまるのかと思った。
- ・心不全について学ぶことができた。イラストでの説明が分かりやすかった。ピクトグラムを使った取組は利用者宅を訪問する際にとても良いツールだと感じました。
- ・先生の心不全の説明はとてもわかりやすかったです。心不全チームの取り組みもわかりやすく、在宅支援に生かしていきたいと思いました。
- ・吉田先生の説明がわかりやすく、短時間で心不全がどういう病気か、管理していく際のポイントなど大変勉強になりました。最後のディスカッションの時間に多視点での意見交換があって良かったです。
- ・あらためて心不全について考えることが出来ました。ピクトグラムは知らなかったので、患者さんのところで見つければ、患者さんと話してみようと思いました。

次年度の研修会の内容や、地域における医療介護連携に関する意見など

- ・糖尿病について、デイサービスで出来る事。
 - ・MCSの実例、改善できた事例。
 - ・歯周病について、歯科の先生のお話、今日の秋山先生お願いします。心不全やDMリスクにもつながるのでぜひ。
 - ・今後もよろしくお願いします。
 - ・今回はとっても良かったです。
 - ・今日のような研修会をまた開催してほしいです。とても有意義でした。ありがとうございました。
 - ・レジュメ(講師の名前や職種など記載)がほしい。研修会での周知として、おんなかラインや資源マップのチラシなど配布してはどうか？
 - ・医療機関、専門職ではないため、医療についての研修は助かります。今後もよろしくお願いいたします。
 - ・現在、リハビリ特化型デイサービスに勤務しています。各施設のリハビリメニューが皆さん(利用者様)が行いやすいメニュー等の共有できたら良いと思いました。
 - ・今後も多職種連携を積極的に行いたいと考えておりますので、研修会等あれば参加を続けたいです。よろしくお願いいたします。薬局としても協力できる点があればしていきたいと、質疑を聞いていて思いました。
 - ・意志(思)決定支援の援助方法(援助的コミュニケーションの手法)を学びたい。ACP。
- 入院時と退院後の医療機関、施設との連携をする為にカンファの重要性を話してほしい。
- ・誤嚥、嚥下について。
 - ・心不全チームがあることを初めて知りました。入院時の教育内容など気をつけることを在宅の支援者にどのように伝えているかお話しをして欲しかったです。その点が連携推進につながると思います(利用者宅で見つけたら気をつけるより一緒に共有して支援できるようにした方が良いと思いました)。吉田先生、豊澤先生がお話しされてたツールがあると良いと思います。